

# Frontliner

株式会社日本保健衛生協会  
第一事業部  
サニタリーグループ  
発行責任者/大阪本社サニタリー

スタッフの皆さま、日々の業務に尽力いただきありがとうございます。  
暑さも日増しに和らぎつつあり、少しずつ秋を感じられるような朝晩になってきましたね。  
さて、常日頃の清掃作業で、疑問に思うことはないでしょうか？  
今月は資機材・薬剤の使い方、注意点等をテーマにしました。

## ■資機材の使い方

### ◆クロスやモップの色の違い(カラーコントロール)

色は白・黄・緑・青・赤など・・・当社では主に青・赤・(緑)です。  
衛生面(清潔度)の違いによって、使い分けできるように色分けしています。



青→肌が触れるところ(便座の座るところ・手摺など)  
赤→汚染するところ(便座の裏・便器など)  
緑→それ以外(テーブル・洗面台・棚の上など) ※緑色の使用は現場によります。

### ◆掃除機の種類

#### ・ドライ型

ゴミや埃を取り除く



#### ・ウェット型

汚水を吸い込む



#### ・アップライト型

カーペット専用



日常清掃でよく使っているのはドライ型です。

#### (掃除機使用後の注意点)

電源スイッチが ON 状態でコンセントを抜いて置かれているのをよく見かけます<sup>※</sup>  
漏電・感電事故の元になりますので、使用時は必ず電源スイッチが OFF になっていることを確かめてからコンセントの抜き差しをするようにして下さい。



スイッチが ON のままになっている

## ◆スポンジの色分け

・青(洗面・シンク等)



・赤(便器)



スポンジが粗い方は研磨剤が入っています

研磨材が入っているザラザラの面は、陶器やステンレスを傷つけてしまうことがあるので、汚れ具合などで適切に使い分けましょう。

## ◆トイレブラシ

便器の形状によって使い勝手が違います。当社では主に2種類を使用しています。

・スポンジ型



汚れ落ち◎

すぐに痛む(交換頻度高)

※ブラシ型は便器に傷をつけやすいので注意が必要です。

・ブラシ型



汚れ落ち○

傷つけやすい

## ■薬剤

洗剤は、酸性・中性・アルカリ性に分かれています。

汚れの成分によって薬剤を使い分けましょう。

### ◆酸性洗剤

キッチン・浴室・トイレ(尿石)・水アカ

水回りの汚れなど、アルカリ性の汚れには酸性洗剤で中和させて汚れを除去します。

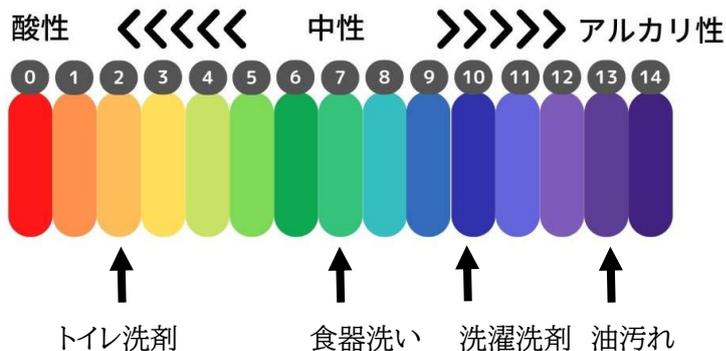
### ◆アルカリ性洗剤

台所の油汚れ・たばこのヤニ・皮脂汚れ・フローリング

酸性の汚れには、アルカリ性洗剤で中和させて汚れを除去します。

### ◆中性洗剤

様々な汚れ、酸性・アルカリ性のどちらの汚れにも対応しており、素材を傷めにくく、手肌にも優しいため、軽い汚れなどに適していますが、頑固な汚れには、汚れの性質にあった洗剤を使うようにしましょう。



### ◆当社の日常清掃で使用している薬剤

主にハイプロックスアクセル、レモングリーンの2種類で、ともに弱アルカリ性です。

ノロウイルス・コロナ等のウイルスも除去でき、後から乾拭きや水拭きなどの2度拭きをしなくてもいい万能な薬剤です。

しかし、「弱」とは言えアルカリ性ですので刺激が強い薬剤です。

希釈倍率をしっかりと守り、手袋を装着してください。



清掃では 64 倍  
消毒目的だと 16 倍希釈



清掃では 60 倍  
消毒目的だと 40 倍希釈



また、トイレ洗剤は酸性です。

使用時は必ず手袋・保護メガネを着用してください。



## 現場での出来事

病室の個室の便器が詰まってしまったため、ラバーカップを用いてつまりを除去した。  
その後、隣の部屋のシャワー室内に汚水があふれているのを病院スタッフが発見した。

(原因)つまりは解消されたが、排水が繋がっていたため隣の部屋の排水に逆流してしまった。

(対応)業者に依頼し、バキュームで回収、解消してもらった。

(対策)便器の詰まりについて

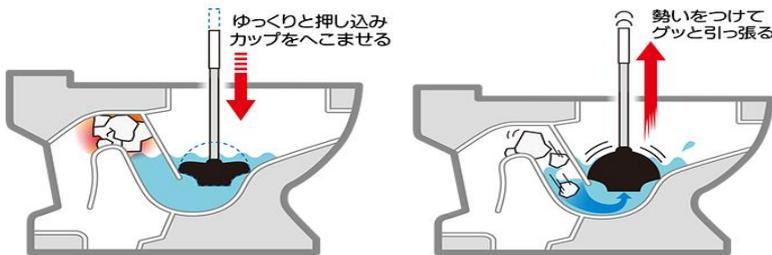
何が詰まっているかによって対処方法が変わります。

2021年2月のピカピカ通信にも掲載しましたが、年月が経っているのでおさらいです↓

### 【トイレが詰まったときの対応】

トイレに詰まりやすいもの:大量トイレットペーパー、ペーパータオル、おむつ、排泄物

- ① 見えているつまり物を取り除く。
- ② 便器内に水がしっかり入っているか確認する。
- ③ ラバーカップを排水口に隙間なく当て、ゆっくりと押し込む。
- ④ 押し込む時と逆に勢いをつけて引き上げる、これを数回繰り返す。
- ⑤ 水の通りがよくなったら、少しずつ水を流し様子を見る。



※水に溶けない固形物(異物)を落としてしまった時の対処法！

- ① 固形物を流してしまった場合、手で取れる位置にあれば取り除く。
- ② 水を大量に流したり、ラバーカップで圧力をかけない。
- ③ トイレが詰まったことをお客様に報告し、使用禁止にする。
- ④ 本社の清掃担当者に連絡し、その後の指示を受ける。



●上記の対処法を間違えると、かえって状況を悪化させる可能性があります。

●詰まったときは、正しくラバーカップを使用する！

●固形物を流してしまったときは、流さない、圧力をかけない、何もしない！ → 本社清掃担当者に直ちに連絡！

トイレが詰まったときは焦らず落ち着いて、

対応が分からなければ、独自に判断せずに清掃担当者に連絡し、相談してください。